

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市東山老人デイサービスセンター

## 1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活総合事業）の実施

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

## 2 事業実施内容

- ①通所介護、介護予防通所介護事業実施とこれに伴うサービス提供（食事、入浴、機能訓練、レクリエーション、送迎、相談業務などの提供）
- ②日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
- ③通所介護計画に基づく個々の利用者の自立支援を目指したサービスの提供
- ④個々の利用者に対する相談援助と関係機関との協議
- ⑤サービス向上に向けた取組として、ユーザーアンケートの実施と情報の公表の受診、職員に対する内外研修の積極的な取組

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

## 3 サービス提供状況

管理者：1名、生活相談員：3名（うち兼務：2名）、看護職員：3名、機能訓練指導員：4名、介護職員：11名（うち兼務：2名）、運転手3名、調理員：2名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合せを行っています。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

### (1) 延べ利用者数(実績値)

10,516 人

### (2) 実利用者数(実績値)

1,258 人

### (3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	109,047,917
利用料収入	6,553,884
委託料収入	0
補助金収入	0
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	44,208,154
収入計	159,809,955

イ 令和4年度支出状況(単位:円)

人件費	99,873,208
事業費	17,911,771
委託費	0
小額修繕費	0
その他	42,015,843
支出計	159,800,822

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

令和4年12月配布、令和5年1月集計 配布数:108名 回答数:51名 回答率:47.2%

主な項目

【利用時間】	満足:72%	やや満足:20%	やや不満:6%	不満:0%	無記入:2%
【送迎】	満足:90%	やや満足:6%	やや不満:2%	不満:0%	無記入:2%
【入浴】	満足:74%	やや満足:10%	やや不満:6%	不満:0%	無記入:10%
【食事】	満足:70%	やや満足:18%	やや不満:2%	不満:0%	無記入:10%
【レクリエーション】	満足:47%	やや満足:27%	やや不満:0%	不満:4%	無記入:22%
【機能訓練】	満足:47%	やや満足:33%	やや不満:2%	不満:0%	無記入:18%
【プライベート】	満足:72%	やや満足:16%	やや不満:0%	不満:0%	無記入:12%
【全体】	満足:74%	やや満足:14%	やや不満:0%	不満:0%	無記入:12%

### (2) 利用者満足度把握の結果

前年度と比較し、「満足」「やや満足」の回答が全項目において向上した。令和3年度についてはコロナウイルスの感染拡大が顕著であり、事業所としてもクラスターにて閉鎖していた期間が多かったが、令和4年度については事業所としてクラスターは発生せず、事業休止することなく継続できたことが大きな理由と考えられる。今後いかに利用者に満足してデイサービスを利用頂けるかを考え、サービス提供に努めていく。

### (3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果については利用者へ配布し情報提供を行った。また、職員間でアンケート結果を情報共有し職員会議において意見交換を実施することで振り返りの機会を持った。意見の中でデイとして改善すべき点については取組を実施している。

## 7 その他特記事項

サービス向上及び利用者への個別支援について毎月定例で開催している職員会議の中で意見交換を実施している。業務改善について継続的に取り組みより良い環境下で支援が行えるように協議を行っている。併設事業所とも連携していく必要がある為、デイサービスからのサービス提供についての課題を情報提供してもらい、サービスの向上に努めている。

## 8 評価（指定管理者自己評価）

令和4年度は令和3年度と比較して延べ利用者人数が9,623名から10,516名と向上した。令和3年度については令和4年1月に事業所でクラスターが発生し休業期間が発生したことに対して令和4年度は事業を休止することなく継続できたことが大きな要因と考える。今後も感染対策を徹底しながら、サービス提供を継続していきたいと考えている。ケアプランセンター及び地域包括支援センターが併設していることもあり、事業所としては地域との繋がりも強いことから、支援を必要としている高齢者に対しては迅速な対応を心掛けていき、地域に根付いたデイサービスセンターの運営を心掛けていきたいと考えている。これまでの関係性の中で地域とのネットワーク構築も進んできており、支援を要する人の発見にも繋がっている。地域野中で障害がある高齢者等への対応が必須である為、現状、専門的な知識の習得を職員研修等を通じて実施し、障害を理由とする差別の解消に向けた理解を深めている。